

# 部分床義歯補綴学実習Ⅱ

責任者名：安田 裕康（歯科補綴学Ⅱ 助教）

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

## ◆担当教員

安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)  
萩原 芳幸(歯科補綴学Ⅱ 教授)  
月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)  
大谷 賢二(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)  
大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)  
秋田 大輔(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)  
石上 友彦(特任教授)  
青山 芳博(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
小豆畑 拓夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
宇美 隆生(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
内田 耕司(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
大野 繁(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
岡田 信夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
北村 晃一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
小林 公(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
澤野 宗如(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
高村 昌明(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
豊田 潤(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
中臺 一介(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
藤本 俊輝(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
三井 安治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
永井 栄一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
三橋 裕(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
森川 正朗(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
伊藤 顕治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
中林 晋也(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
眞田 淳太郎(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)  
高橋 侑子(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)

## ◆一般目標（GIO）

歯列欠損患者の治療方法の1つとしての部分床義歯製作法を修得する。部分床義歯を製作するために、その製作過程の中での維持装置の製作などの技工操作を修得し、また部分床義歯を完成し、顎模型への装着までの臨床操作を修得し、それらに関連する知識を理解する。

## ◆到達目標（SBOs）

- 1) 部分床義歯製作における、器材および材料の使用方法を説明できる。
- 2) 欠損形態の分類とその特徴について述べるができる。
- 3) 支台装置の種類、製作方法、機能および適応について述べるができる。
- 4) 連結装置の種類、製作方法、機能および適応について述べるができる。
- 5) 人工歯の種類、機能および適応について述べるができる。
- 6) 義歯床用レジンの種類、重合方法、適応について述べるができる。

#### ◆評価方法

本教科の成績評価点は、実習書に記載する製作物の完成度(評価項目 10 項目) (10 項目×10%) で評価する。なお、採点用製作物は、採点時あるいは採点後にフィードバックを行い、各学生に対して製作物のどこを修正すると、より良い製作物になるか指導する。また、実習の理解に関して、実習を観察し、実習内容に理解が足りない学生に対してレポートの提出を求める。その場合はレポート提出時に、レポート課題に対して、より良いレポートにするためのフィードバックを行う。

#### ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間 ・ 場所など	メールアドレス・連絡先	備考
安田 裕康	17:00~18:00 (火曜日) 歯科補綴学第Ⅱ講座 (本館5階)	03-3219-8144 yasuda.hiroyasu@nihon-u.ac.jp	

#### ◆授業の方法

実習は9月14日(全15回)から行われ、木曜日6~8時限に第5実習室で進行する。実習書の課題に対して積極的に実習を行い、評価を受ける。レポートに関しては、実習の進行状況を見ながら、随時、課題を挙げて提出をする。

##### 【実務経験】

安田裕康：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での臨床経験等の話も交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や主に実技がどのように実際に活用されるかについて、わかりやすく解説し、適切な実技を学ぶ場を提供する。

#### ◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
実習書	部分床義歯補綴学実習書	日本大学歯学部歯科補綴学 第Ⅱ講座編		2023

#### ◆DP・CP

コンピテンス 4：歯科医学および関連領域の知識学習アウトカム  
コンピテンシー：4-4, 4-5, 4-6, 4-8

対応するディプロマ・ポリシー：DP4

コンピテンス 5：医療の実践

コンピテンシー：5-2, 5-3, 5-4,

対応するディプロマ・ポリシー：DP5

#### ◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に実習書を読み，実習前講義の説明内容を理解しておくこと。

実習前講義までに十分に学習すること。

#### ◆準備学習時間

各々予習と復習を行うこと。

#### ◆全学年を通しての関連教科

歯科理工学Ⅰ（2年後期）

歯科理工学実習Ⅰ（2年後期）

歯科理工学Ⅱ（3年前期）

歯科理工学実習Ⅱ（3年前期）

歯冠補綴学（3年後期）

歯冠補綴学実習（3年後期）

咬合学概論（3年後期）

架橋義歯補綴学（4年前期）

部分床義歯補綴学Ⅰ（4年前期）

架橋義歯補綴学実習（4年前期）

総義歯補綴学Ⅰ（4年前期）

顎機能治療学（4年前期）

顎機能分析学（4年後期）

顎機能分析学演習（4年後期）

総義歯補綴学実習（4年後期）

部分床義歯補綴学Ⅱ（4年後期）

総義歯補綴学Ⅱ（4年後期）

#### ◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ～ 3		9.14	6 ～ 8	1.支台装置の製作 34 および 37、 鉤 の埋没 (教)pp.86-89	・エーカーズ鉤およびコンビネーション鉤の型ごと埋没法の術式を修得することができる。 ・型ごと埋没法について，他の埋没法との相違を述べることができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部 分床義歯，全 部床義歯）
4 ～		9.21	6 ～	1.支台装置の製作 34 および 37、 鉤の	・エーカーズ鉤およびコンビネーション鉤の型ごと埋没法の術式を行う	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部

6			8	<p>埋没の確認 (教)pp.86-89 34 および 37 , 鉤 の鑄造 (教)pp.90, 91</p>	<p>ことができる。 ・型ごと埋没法について, 他の埋没法との相違を述べることができる。 ・埋没した支台装置のワックス焼却方法および鑄造法を行うことができる。</p>		<p>分床義歯, 全部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑩ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
7 ～ 9		9.28	6 ～ 8	<p>2. 支台装置の製作 34 および 37 , 鉤 の鑄造 (教)pp.90, 91</p>	<p>・埋没した支台装置のワックス焼却方法および鑄造法を行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑩ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
10 ～ 12		10.12	6 ～ 8	<p>3. 支台装置の製作 34 および 37, 鉤の 試適・研磨 (教)pp.92-94</p>	<p>・鑄造体の作業用模型への試適および研磨法の技術を行うことができる。</p>	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維</p>

							持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑪ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
13 ～ 15		10.19	6 ～ 8	4. 支台装置, 連結装置の作業用模型への固定 (教)pp.95-99	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作した支台装置を作業模型上に試適し, 鉤腕の形態修正および適合性について述べることができる。</li> <li>・金属床義歯の適合調整を行うことができる。</li> <li>・支台装置の咬合調整の目的を理解し, その技術を行うことができる。</li> </ul>	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑪ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
16 ～ 18		10.26	6 ～ 8	5.人工歯排列 1) 46 および 47 の人工歯排列 (教)pp.101-104	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工歯の選択基準および排列基準を述べることができる。</li> </ul>	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑪

							可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
19 ～ 21		11.2	6 ～ 8	6. 人工歯排列 2) 35 および 36 の人工歯排列 (教)pp.105, 106	・ 歯肉形成の審美性, 機能的形態の目的および方法を述べることができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑪ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
22 ～ 24		11.9	6 ～ 8	7. 歯肉形成 (教)pp.107-110	・ 歯肉形成の審美性, 機能的形態の目的および方法を述べることができる。 ・ 床縁および義歯研磨面の形態について学び, その技術を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯, 全部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑪ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明でき

							る。
25 ～ 27		11.16	6 ～ 8	8. 一次埋没 (教)pp.111-120	・ろう義歯の埋没について、目的、 方法および注意事項を述べるこ とができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部 分床義歯、全 部床義歯）④ 可撤性義歯の 要素構成と支 持、把持、維 持の機構を説 明できる。⑤ 可撤性義歯の 設計原則を説 明できる。⑩ 可撤性義歯の 製作に必要な 材料の特性と 基本的操作方 法を説明でき る。
28 ～ 30		11.23	6 ～ 8	9. 二次、三次埋没 (教)pp.111-120 (教)pp.47-50	・フラスクへの埋没前の試適と模型 の調整法の術式を行うことができ る。 ・フラスクへの埋没法について行 うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部 分床義歯、全 部床義歯）④ 可撤性義歯の 要素構成と支 持、把持、維 持の機構を説 明できる。⑤ 可撤性義歯の 設計原則を説 明できる。⑩ 可撤性義歯の 製作に必要な 材料の特性と 基本的操作方 法を説明でき る。
31 ～ 33		11.30	6 ～ 8	10. 流ろう (教)pp.121-128	・流ろうの目的を理解し、操作術式 を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部 分床義歯、全

							<p>部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑩ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
34 ～ 36		12.7	6 ～ 8	10. レジン填入・重合 (教)pp.121-128	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジン填入の前準備, レジンの混和および填入法の術式を行うことができる。</li> <li>・レジンの重合法について術式を行うことができる。</li> </ul>	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯, 全部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑩ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
37 ～ 39		12.14	6 ～ 8	11. 取り出し, あら研磨 (教)pp.124-133	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重合した義歯のフラスクからの取り出し方法, 石こう塊の分割法などの技術を行うことができる。</li> <li>・義歯の取り出し方法について, その技術を行うことができる。</li> <li>・取り出した義歯のあら研磨と保管方法について行うことができる。</li> </ul>	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯, 全部床義歯) ④ 可撤性義歯の要素構成と支持, 把持, 維持の機構を説

							明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑪ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
40 ～ 42		12.21	6 ～ 8	12. 最終研磨 (教)p.134	・最終研磨法について、その技術を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）④ 可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑪ 可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
43 ～ 45		1.11	6 ～ 8	13. 部分床義歯の義歯床内面の調整 (教)p.135 14. 部分床義歯の咬合調整・顎模型への装着 (教)p.136	・義歯粘膜面の調整の目的およびその方法を行うことができる。 ・顎模型への装着の方法を行うことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯，全部床義歯）④ 可撤性義歯の要素構成と支持，把持，維持の機構を説明できる。⑤ 可撤性義歯の設計原則を説明できる。⑪ 可撤性義歯の





担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
部分床義歯補綴学実習	804	永井 栄一
	1006	萩原 芳幸
	1195	大谷 賢二
	1206	月村 直樹
	1239	大山 哲生
	1373	中林 晋也
	2696	秋田 大輔
	3082	眞田 淳太郎
	3000272	青山 芳博
	3000273	宇美 隆生
	3000274	岡田 信夫
	3000275	北村 晃一
	3000276	小林 公
	3000277	中臺 一介
	3000280	藤本 俊輝
	3000281	三井 安治
	3000282	三橋 裕
	3000284	森川 正朗
	3000285	澤野 宗如
	3000287	高村 昌明
	3000288	大野 繁
	3000289	小豆畑 拓夫
	3000290	内田 耕司
	3000292	豊田 潤
	3000603	高橋 侑子
	5000005	石上 友彦
	2969	安田 裕康

